

1 事業名等(Plan 1)

事業名	町内会外灯料助成事業				
所属名	市民活動部 市民活動推進課 市民活動推進グループ				
第七次総合計画	政策 3 「すみよさ」のあるまちをめざして	分野 9 安全	基本施策 1 日常生活における安全を確保する	施策 2 防犯体制の強化	
予算科目	2 1 10 市民活動推進 費	21010 市民活動支援			事業
		費			事業
		費			事業
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	高山市町内会関係事業補助金交付要綱				
事業の実施主体	市	市以外	高山市町内会連絡協議会		
事業の実施方法	直営	指定管理	業務委託	<input type="radio"/> 団体等補助	その他

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	市民	受益者数	— 人
	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	日常生活における安全を確保し、地域に根ざした防犯体制の確立を促す		
概要	事業の実施手法、手順	町内会で管理する外灯について電気料金を助成している 補助率90%		
	事業始期・終期	始期: 年度から	始期: 年度まで	設定なし <input type="radio"/>
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 エコ照明器具に対する情報収集等			

3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
財源	総合計画計画額(当初)	15,000	15,000	18,200	18,000	18,000
	総合計画計画額(計画額)	16,600	17,000	18,200	18,000	18,000
	事業費(計画・予算・見込・決算額)	18,200	18,200	18,200		
	国庫支出金	19,619	18,587			
	県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	繰入					
	一般財源	18,200	18,200	18,200		
	決算・見込	19,619	18,587			
H17国勢調査	96,231 人 32,174 世帯	※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価				
コスト	受益者負担率(受益者負担/事業費) 単位 %	—	—			
指標	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口) 単位 円/人	204	193			
	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯) 単位 円/世帯	610	578			
	受益者1人当たりコスト(事業費/指標) 単位 円/人					
	その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)					
	外灯1基当たりのコスト 単位 円/基	2,377	2,218			

【成果面】

活動・成果指標	活動指標	目標値	防犯灯数					資料・出展算出式	単位	基
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度			
活動指標	目標値	—								
	実績値	8,254	8,381							
	達成率	—	—							
成果指標	目標値	—								
	実績値	—								
	達成率	—	—							

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)		A:非常に高い	目的評価	
(現状及び判定理由)	市民生活の安全確保のために照明の確保は必要である	B:高い	A	
		C:低い		
		D:非常に低い		
②コスト面評価(事業費の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)		項目 ②コスト面		
該当項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)		増加	維持	減少
減少	維持	1	増加	
(判定理由)	事業費は、燃料単価や防犯灯数等外的要因に影響されるため、年により変動がみられる	拡大		
		維持		○
		減少		
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)		コスト・成果ポジション		
該当項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)		E		
拡大	維持	1	減少	
(判定理由)	防犯灯数は微増傾向にあるものの、老朽化してきている	第3水準		

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→ I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→ II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→ III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→ IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→ V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

分析・評価(Check)により明らかになった課題・問題点	防犯灯の老朽化等がすすんでいるため、その対応について検討する必要がある
------------------------------	-------------------------------------

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/>
活動の方針	外灯の設置(改修含む)に対する助成制度の創設を検討する 次年度の実施方針 同上

一次評価 主管課	III
評価区分	III
判断の理由	生活安全上必要な照明は確保しなければならない。

総合評価	中 中 III
判断の理由等	「II」以上の水準に向けた改善が必要 防犯灯は、市民の安全・安心を確保するために大きな役割を担っている。このため現在の外灯料助成に加え、外灯の設置(改修含む)に対する助成制度の創設も検討する必要がある。なお、制度設計にあたっては、道路・通学路照明との関係の整理、防犯灯の設置基準の明確化、エコ照明器具への対応、財政負担等留意すべき課題も多く、十分な検討が必要である。